

第3回 諏訪市まち・ひと・しごと創生本部会議 会議録

- 日 時 平成27年8月25日（火）午前9時30分～10時45分
- 会 場 諏訪市役所 201 会議室
- 出席者
 - <本部長>
金子市長
 - <副本部長>
平林副市長、小島教育長
 - <本部員>
関総務部長、河西企画部長、伊藤市民部長、土田健康福祉部長、飯塚経済部長、
竹内建設部長、宮下水道局長、高見教育次長、松崎議会事務局長
 - <幹事>
金原総務課長、木島企画調整課長、花岡財政課長、河西まちづくり・男女共同参画推進課長、
小松こども課長、前沢健康推進課長、矢花都市計画課長、河西教育総務課長
 - <事務局>
前田企画調整係長、河西企画調整係主査、牛山企画調整係主査、小松企画調整係主任
- 欠席者
湯沢会計管理者、大舘商工課長
- 会議結果
 - ① 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子（案）について承認された。
- 会議概要
 - 1 開会
(河西企画部長)
 - ・本日の創生本部会議は諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子（案）について協議いただく。
 - ・本部長の金子市長よりご挨拶いただきたい。
 - 2 本部長あいさつ
(金子市長)
 - ・今回の創生本部会議では、6月に実施した住民意識調査結果の詳細版、自由意見やクロス集計を追加したものについて報告する。

- ・その上で、「諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子（案）」について協議する。昨日、第3回まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催し、様々な意見をいただいた。このことも踏まえ、諏訪市として総合戦略骨子（案）を決定する。
- ・総合戦略骨子（案）は、総合戦略による施策展開の要点となるもので、人口ビジョンにおける人口目標値を達成するために必要となる柱を定める。骨子を基本として、全市を挙げて具体的な施策や事業を肉付けしていく。
- ・なお、会議終了後に「<まち・ひと・必刷仕事人>ワークショップ」による事業提案を受ける。

3 報告

(1) 住民意識調査結果（詳細版）について

（事務局）

※資料No.1-1、No.1-2、No.1-3、No.1-4 に基づき説明

(2) <まち・ひと・必刷仕事人>ワークショップについて

（事務局）

※資料No.3 に基づき説明

4 協議事項

(1) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子（案）について

5 意見交換

（事務局）

※資料No.3 に基づき説明

（本部長）

- ・質問、意見があれば伺いたい。

（本部員）

- ・昨日の第3回有識者会議において、総合戦略骨子（案）が了承されたかどうか曖昧である。様々な意見が出された中で、有識者会議の委員はどのように認識しているかどうか。
- ・ワークショップのこれまでの実施内容は総合戦略骨子（案）に反映されているのか。
- ・第3回有識者会議での意見を取りまとめることはたいへん難しいと感じる。総合戦略の副題部分についてや、内容が総花的であるという意見が多かったように感じている。有識者会議の委員として、直感的に諏訪市をアピールできるタイトルが欲しいということであると思う。
- ・諏訪市は様々な取組を行っているが、市民に周知ができていないと感じた。例えば、奨学資金であるが、今年度より貸与枠を拡充している。また、諏訪市に戻ってきた場合は減免措置もある。諏訪圏工業メッセについても、市内の小中学生をバスに乗せ、見学していただいている。全てを理解してもらうことは不可能であるが、市の取組のアピール不足であり、特色ある取組が認識されていない。

- ・総合戦略骨子（案）の 8 ページ、「全庁的体制で」とあるが、地方創生は市役所だけの取組ではないので、表現を変えるべきであると思う。「産みたい人」と例示するのであれば、子どもを産む人、産まない人、それぞれを尊重する必要があるので、表現に工夫が必要である。
- ・「光り輝くものにする」という表現もあるが、市長のマニフェストとの関連もあり、積極的にアピールできるよう、わかりやすく、直感的に感じることができる言葉を加えてほしい。直感的な一言として、かつて長野文学賞の中で「高原美観都市」という言葉もあった。

（本部長）

- ・今の意見に関連して発言したい。総合戦略を推進するにあたっての問題であるが、人口ビジョンの目標達成には長期的な視野が必要となる。最終的に諏訪市としての目標がトータルで達成できれば良い。その目標に向かって 5 年ごとに区切って取り組むべき施策を検討するということであると思う。5 年間で達成するもの、最終的に達成すべきものと分けて考えるべきである。
- ・最終的な目標には、総花的でない諏訪市の特徴が出てくると思うが、5 年間であらゆる施策を推進するのではなく、最初の 5 年間で実施する事業、次の 5 年間で実施する事業というように、時間軸でのウェイト付けがあって良いのではないか。

（事務局）

- ・有識者会議は総合戦略策定にあたり意見をいただく場として設定している。昨日の有識者会議では様々なご意見をいただいたが、総合戦略骨子（案）については、4 つの柱の構成、内容的な部分については了承いただいたと認識している。
- ・ただし、諏訪市のどの部分を切り口としてアピールするのかについては検討すべきであるのご意見をいただいたところである。なお、総合戦略骨子（案）であり、これが決定ではない。
- ・ワークショップでの実施内容も総合戦略骨子（案）に取り込んでいる。

（本部長）

- ・当面は 5 年間の計画を立てるが、5 年間では成果は出ない。どこに力を入れていくかにより結果が変わってくる。
- ・総合戦略骨子（案）の 4 つの柱は、国の総合戦略を勘案し、どこの市町村でも方向性として実施するものである。基礎的なベースである。
- ・諏訪市という土地は不変のもの。しかし、住む人々は転勤や進学などで移動する。諏訪市として、土地の魅力に責任を持たなければならない。魅力を磨き上げる施策を進めなければならないが、住む人々の一生に責任を持つわけではない。
- ・諏訪市に住む人々が諏訪市に来た理由を研究、なぜ転入したか、なぜ転出してしまったのか、住み続けている理由は何かということ进行分析して、諏訪市の土地としての魅力を高めしていく必要がある。諏訪市に住んでいる人々の生活も重要であるが、同時に諏訪市としてのストーリー性を組み立てていきたいと考えている。
- ・諏訪市は産業、技術の集積地であり、その魅力を磨き上げる。その魅力を維持するため、若い人たちへの教育や、働く人々を支える医療や福祉の体制を整備する。また、魅力により観光などで人々に訪れてもらう。施策展開のストーリー性が欲しい。何をテーマとして

中心に据えるべきか。観光なのか産業なのか、中心に据えるものが総合戦略のサブタイトルになると思う。

(本部員)

- ・総花的であることは有識者会議での指摘のとおりだと思う。
- ・工場誘致はどこの市町村も掲げているが、諏訪市は土地がない、地盤が緩いということで難しい部分がある。何かポイントを決めるべきである。あらゆる施策を進めていくことになると、相当な予算が必要となり、結果的にほとんど実施できないものになってしまう。
- ・長期にわたる計画期間の中で、相対的なものと、ポイントを定めて実施するものを分けるべきである。方針に従って、主になる取組、そこから派生する取組と分けた方がわかりやすいのでは。
- ・民間企業はなかなか給与が上がらない。そのため結婚できない。結婚するために支援をすることも、個人へ支援することは難しい。企業にもっと給与を出してもらおうとしても、固定資産税の減免など、何かしらの施策が必要となる。前向きに捉えることができるものを一本軸として据えて総合戦略を策定していくべきである。

(本部長)

- ・今後、総合戦略策定を進めるにあたっての作業への意見であると思う。

(副本部長)

- ・地方創生は「ひと」づくりであると思う。教育という柱も重要である。
- ・総花的であることは仕方がないと思う。それぞれの部署で様々な取組を進めており、これまで積み上げてきたものである。
- ・有識者会議でも指摘があったとおり、キャッチフレーズは欲しいと考える。
- ・若者が都会に出たいという希望を持つことは当然のことである。しかし、都会に出た後に、地元に戻りたいという、帰ってきたいという帰巣本能のようなものを持っている。時代や社会状況により地元へ帰ることができない事情もあるが、帰りたいという気持ちは持っていると思う。
- ・こうした気持ちを持てるのは、子どものころから見ている自然や風土を感じる心情が形成されていることによると思う。ものづくり教育をその一端として実施している。
- ・人間の心情に触れる、刺激できる言葉やキャッチフレーズがあると思う。立石公園から見る諏訪市は日本の中心にあるように感じる。例えば「センター・オブ・ザ・日本」。また、諏訪市は特徴がないというが諏訪大社や御柱もある。「諏訪のまほろば」といった副題はどうか。大きなキャッチフレーズがあれば、具体的な取組は総花的であっても良いと思う。
- ・若い人たちの柔軟な感性には期待している。諏訪人の短所として、「ものを大きくつかむ」ことが苦手だと言われているが、これからはこの部分を改善していければと思う。

(本部長)

- ・目標に向かって目指すことができるタイトルとしたいが、模索する時間をいただきたいと思う。総合戦略骨子(案)の基本的方向の一つひとつは各部署で地方創生を進めるにあたっての取組である。それぞれの取組のつなげ方、ストーリーは今後構築していかなければならない。
- ・これらを踏まえ、「(1) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子(案)について」、承

認をいただきたいが、よろしいか。

～異議なしの声～

- ・異議なしのため、「(1) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子（案）について」、承認いただいた。総合戦略については議論の熟度が必要である。今後、その機会をつくりたいと考えている。

6 その他

(河西企画部長)

- ・企画調整課からの連絡事項あればお願いしたい。

(前田企画調整係長)

- ・総合戦略骨子（案）についてはご意見を伺いながら、修正をしていきたい。
- ・8月26日、諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定部会のキックオフ会議を実施する。具体的な施策やKPIの設定など、総合戦略の具体的な策定作業を進めていきたい。

7 閉会

(平林副市長)

- ・活発な議論をしていただいた。総力を挙げて総合戦略策定に取り組んでいきたい。課題はあるが、ご協力をお願いしたい。